



健康・農業 関連事業部門

代表取締役 常務執行役員

水戸 信彰

V

健康・農業関連事業部門

1

近年の業績動向

03

2

ウイルス感染症拡大防止への貢献

05

3

当部門のビジョンと各事業の成長戦略

07

4

今後の業績見通し

25

V

健康・農業関連事業部門

1

近年の業績動向

03

2

ウイルス感染症拡大防止への貢献

05

3

当部門のビジョンと各事業の成長戦略

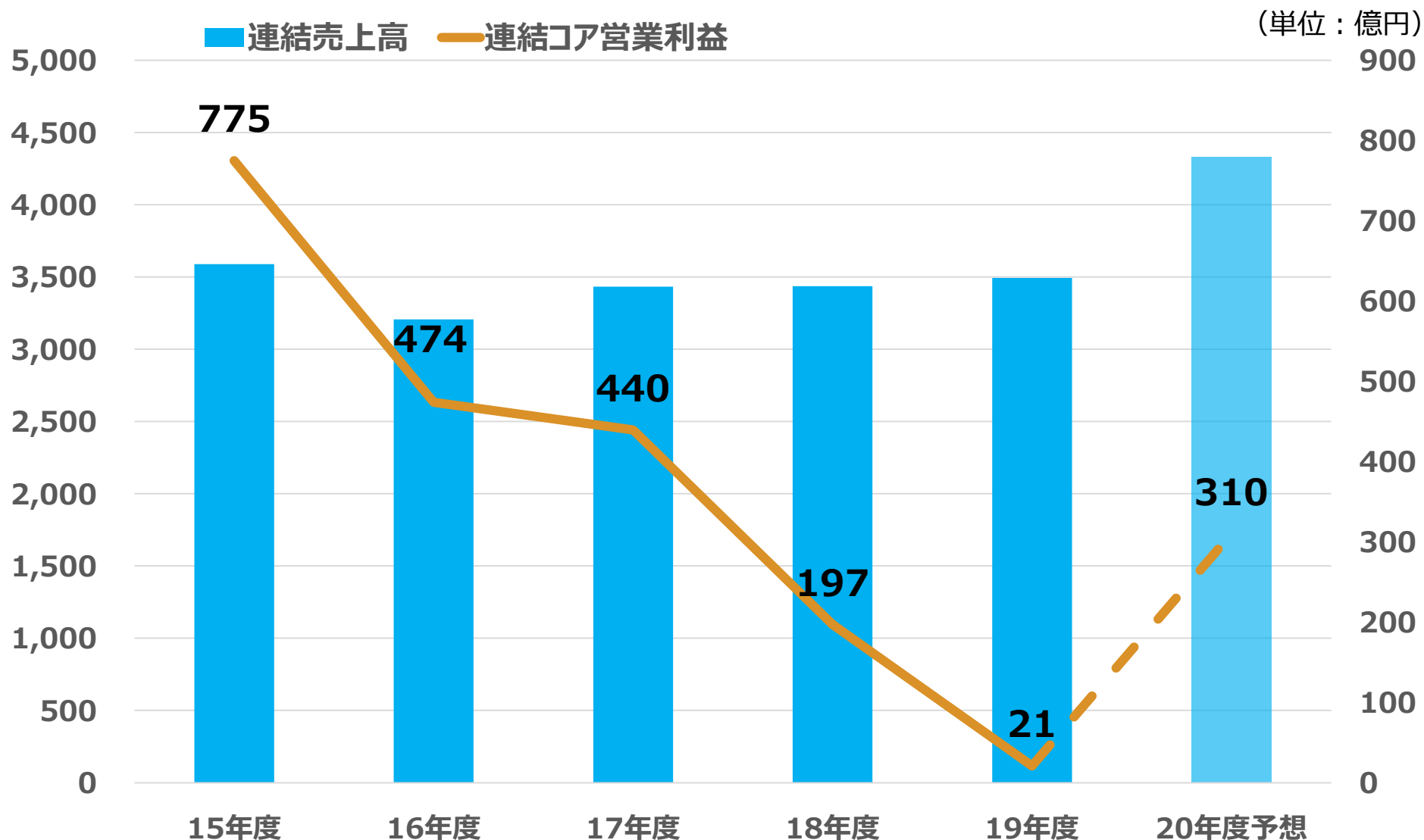
07

4

今後の業績見通し

25

健康・農業関連事業部門 業績推移



V

健康・農業関連事業部門

1

近年の業績動向

03

2

ウイルス感染症拡大防止への貢献

05

3

当部門のビジョンと各事業の成長戦略

07

4

今後の業績見通し

25

ウイルス感染症拡大防止への貢献事例

サンテラ（株）
医療用ガウン素材
（PEフィルム）



医療現場における
保護具不足解消への貢献

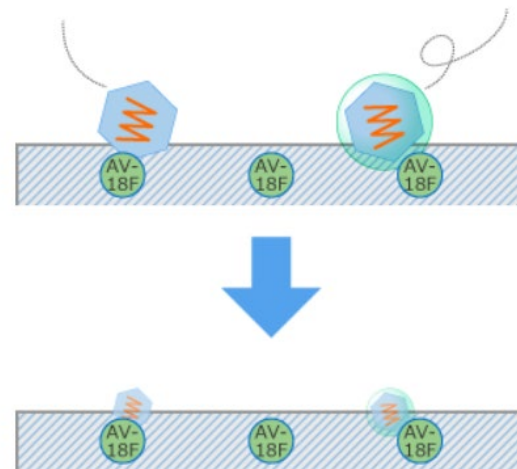
住友化学園芸（株）
抗ウイルススプレー



家庭における
衛生環境改善への貢献

住化エンバイロメンタル
サイエンス（株）
抗ウイルス機能薬剤

【ネオシントールAV-18F 処理製品表面】



自動販売機の押ボタンの
表面処理など、
公衆衛生改善への貢献

V

健康・農業関連事業部門

1

近年の業績動向

03

2

ウイルス感染症拡大防止への貢献

05

3

当部門のビジョンと各事業の成長戦略

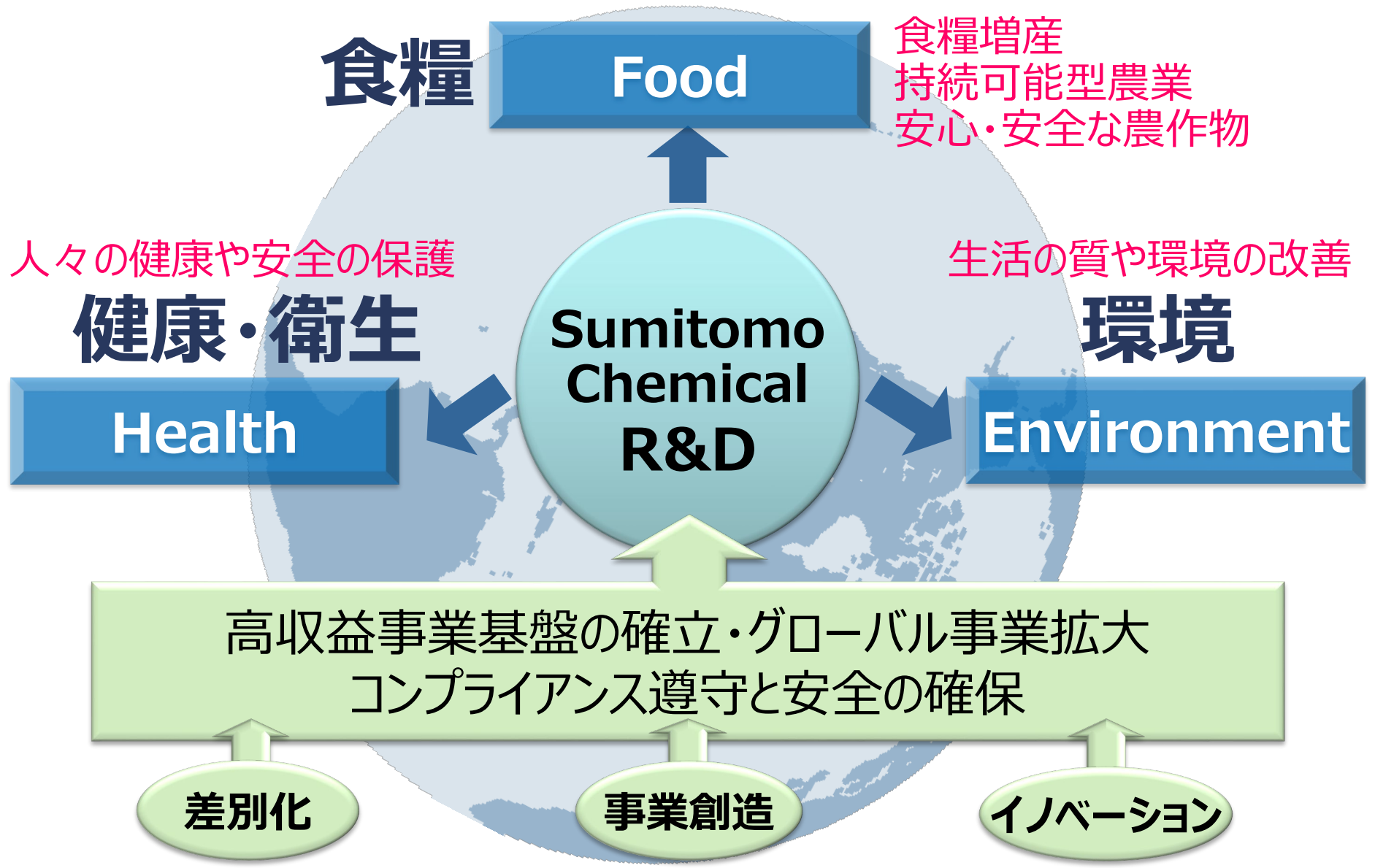
07

4

今後の業績見通し

25

健康・農業関連事業部門の長期ビジョン



成長戦略のKey Words

グローバル



本日のプレゼンテーションでご紹介する案件

- **南米・インド**での農薬事業拡大に向けた取組みの進捗状況

イノベーション



- **農薬パイプライン**の開発進捗
- 次世代技術開発：**合成生物学**へのアクセスと活用
- **デジタル技術（DX）**の活用

差別化



- **バイオリショナル事業**の拡大・強化

事業創造

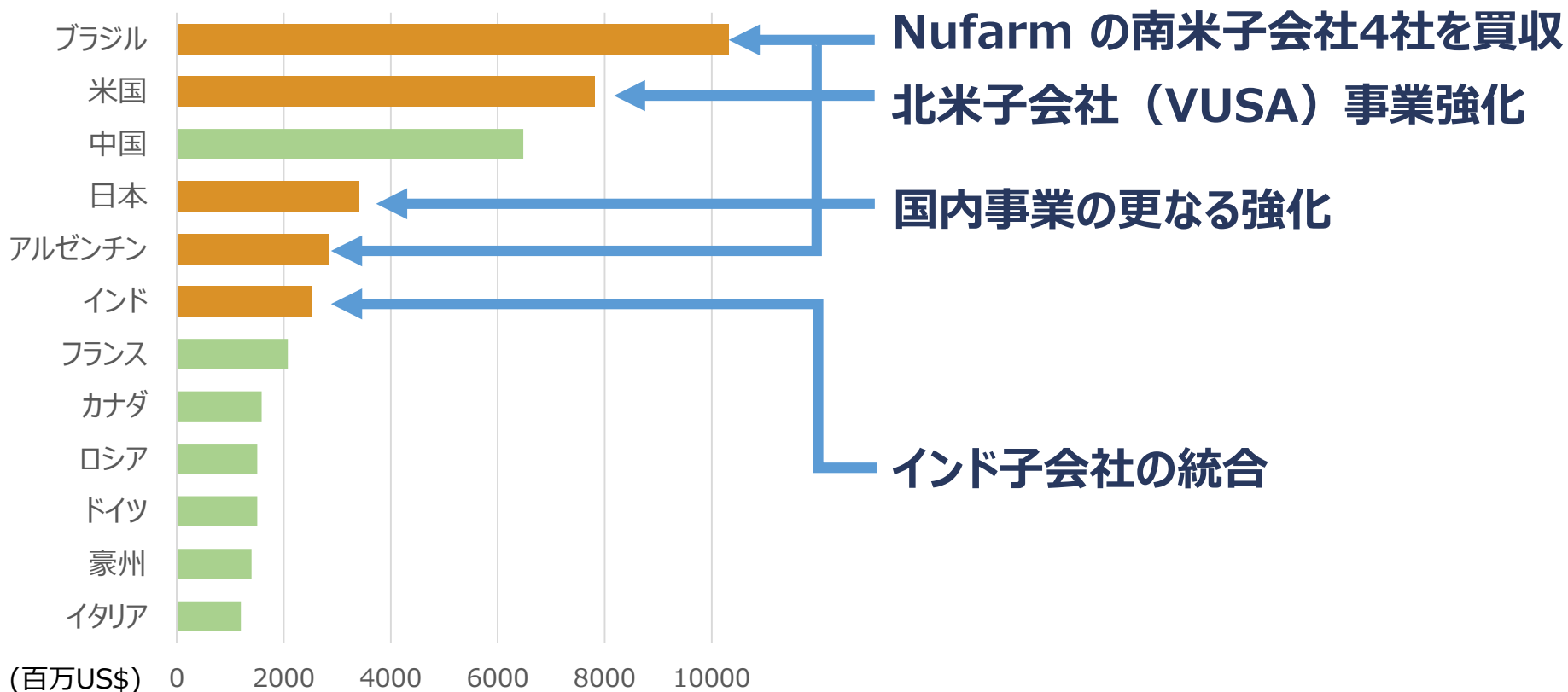


- **抗ウイルス事業**の拡大・強化
- **飼料添加物製品**ポートフォリオの拡充
- **核酸医薬**分野における新規事業開発



世界農薬市場トップ6か国中、5か国において 販売機能の確保・強化を推進中

各国農薬市場の規模（2019年）

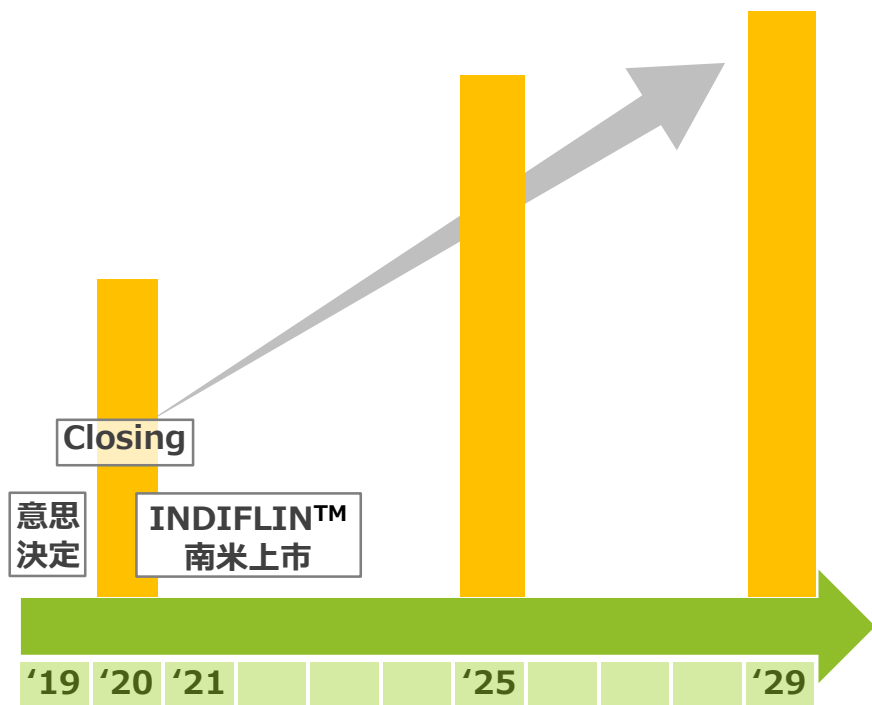


出典：AgbioCrop (Oct 2020)

Nufarm の南米子会社4社（ブラジル・チリ・アルゼンチン・コロンビア）を買収

投資額
約900億円

南米売上高は
2,000億円へ



統合進捗状況

- 新経営体制が決定、2020年8月より一体運営開始（次スライド詳述）
- フォルタレザ工場活用推進—5品目の製剤プロセスを内製化



ブラジル・フォルタレザ工場

新剤開発も加速

- INDIFLIN™について、当社開発の製品の申請（2017年）に続き、旧Nufarm社開発の製品も申請完了
- INDIFLIN™以外の新規製剤品の上市についても、LARC（当社のブラジル圃場）の活用促進などにより開発スピードが加速



700名超の従業員の「On-boarding」プロセス完了。住友化学から経営幹部も参加し、**当社の歴史、精神を深いレベルで共有**



10,000超のステークホルダーとのコミュニケーションを完了



75名を超えるメンバーが20のワーキンググループに分かれて統合PJに従事



コロナ禍で対面でのコミュニケーション機会が限られる中でも従業員一同の士気は旺盛。**「One Team」として効率的・効果的に機能**



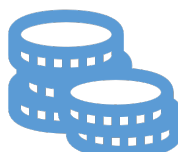
各ビジネス機能における200超の文書類（ポリシーや手続き）について解析済み



250超のバーチャル会議の開催で統合PJを推進



統合計画上に**174のマイルストーン**と**851の活動**をマッピング。概ね半分のマイルストーンを達成済み



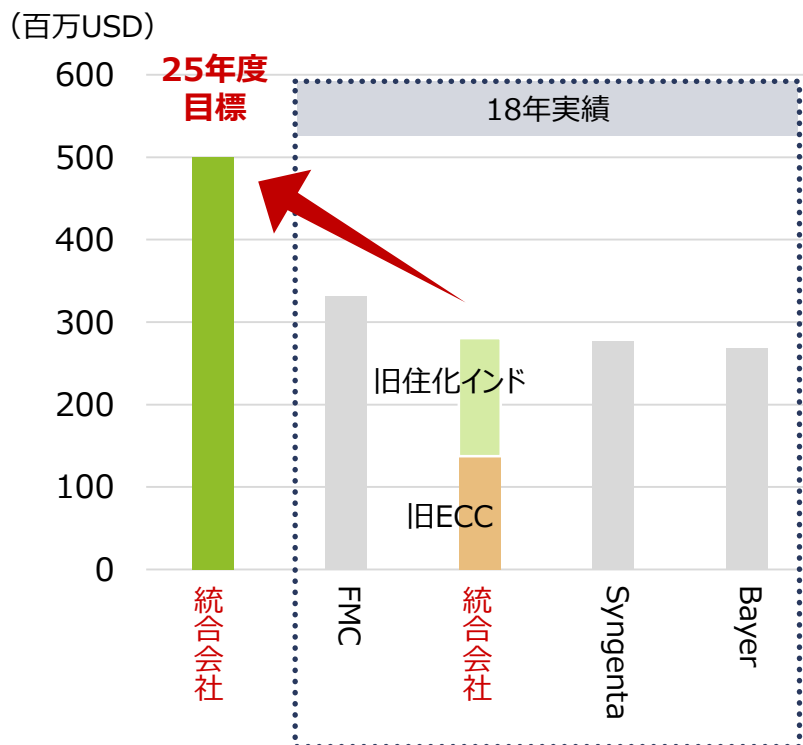
サプライチェーンやCRMなど基幹システムの統合を前倒しで完了、**コストシナジーを早期に発現**



グループファイナンスの活用により、**200ベースポイントを超える金利負担軽減**を実現

インド農薬市場

年平均7~8%成長



統合シナジー効果の実現に向けた取り組み

- **新規混合剤の開発・上市**
当社の農薬原体と旧ECC社が保有していた原体を組み合わせた混合剤を開発
- **旧ECC社生産拠点の活用**
当社の農薬生産の一部をインドに移管、国内工場の稼働余力創出
- **デジタルマーケティングの更なる推進**
SNSやスマホアプリを活用し、小規模農家の多いインドで末端顧客への拡販
- **バイオリショナル事業の強化**
ベーラント・バイオサイエンスとの密接な連携により新規製品導入等を推進

成長著しいインド農薬市場でトップメーカーを目指す



B2020

化合物	用途	実用性評価	本格開発	登録審査	上市
INDIFLIN™ (インピルフルキサム)	農業用殺菌剤 ダイズさび病 等		☑ 開発試験了	☑ 国内登録取得	2020年国内上市 2021年南米上市予定
PAVECTO™ (メチルテトラプロール)	農業用殺菌剤 コムギ葉枯れ病 等		☑ 開発試験了	☑ 国内登録取得	2021年 国内上市予定
アレス™ (オキサゾスルフィル)	農業用殺虫剤 水稻主要害虫 等		☑ 開発試験了	☑ 申請済	2021年 国内上市予定
商品名未定 (ピリダクロメチル)	農業用殺菌剤 畑作・野菜病害		☑ 開発試験了	☑ 申請済	

A2020

パイプラインA	農業用植物生長調整剤			☑ 申請済	
パイプラインB	次世代雑草防除体系用 除草剤		本格開発 進展中		
パイプラインC	農業・家庭防疫用 ボタニカル殺虫剤		本格開発 進展中		
パイプラインD	農業用殺虫剤難防除 害虫対策	実用評価 進展中			

ポテンシャル売上高 1,500億円～2,000億円

コア研究・技術力強化のための 新技術導入

新規事業開発のための 技術開発

新規化学薬剤探索

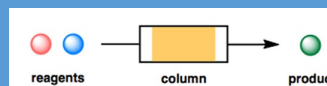


- AI(ドッキングシミュレーション)
- ターゲットベーススクリーニング
- オープンイノベーション
を通じた技術導入



化学プロセス

- AIの活用
- フロープロセス



アプリケーション



- ドローン活用
- センシング活用
- 環境適合型資材
を用いた製品設計

バイオリショナル/ボタニカル

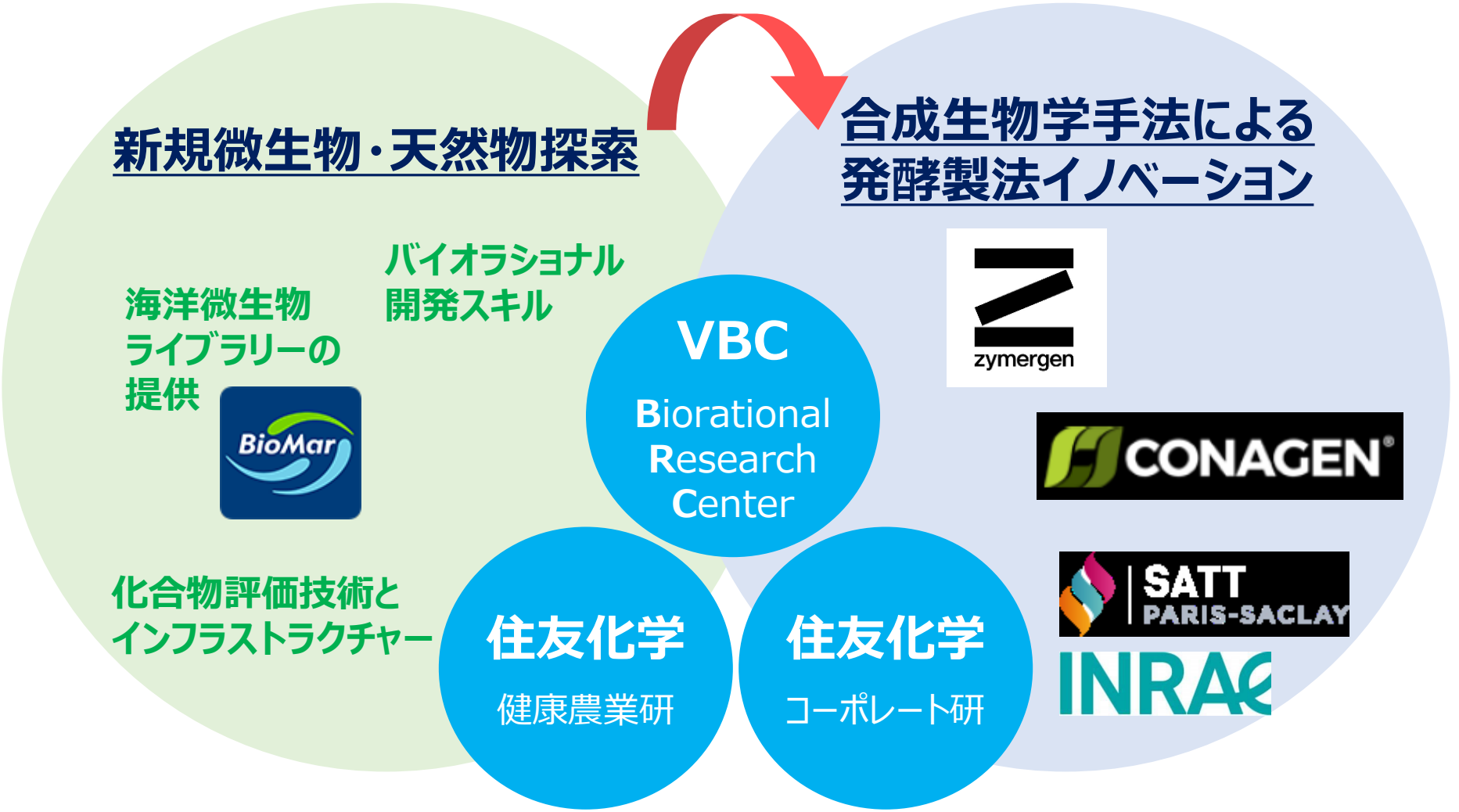


- ダイバーシティのある
天然物ソースの導入と評価
- 合成生物学の活用
- 発酵製法のイノベーション

作物/農業



- コメ品種開発
- フェノタイピング
- 栽培予測





人口増加に伴う
食糧需要の増大
収量向上策の探索



消費者からの安全安心
／品質要求の高まり
サステナブルな栽培
方法に基づく食料供給



気候変動による収量減
(+17% crop losses 2050)
作物の環境ストレスの
緩和



施肥に依存しない収率
向上手段への期待
単収向上の代替手段



「Soil Health」
に関する意識の向上
土中微生物の
生物学的多様性維持



化学農薬の
登録失効数の増加
防除の
統合プログラム



内 容



事業運営体制 (販売機能等)

- バイオリショナル事業のレポートラインを簡素化、**機動的な経営資源配分**を実現
- 米州・欧州等の主要農薬市場においてバイオリショナル等を取り扱う**専門の販売組織「サステイナブルソリューションビジネスユニット (SSBU)」を強化・新設**
 - ✓ 北米：SSBU大幅増員
 - ✓ 南米・欧州：SSBU新設



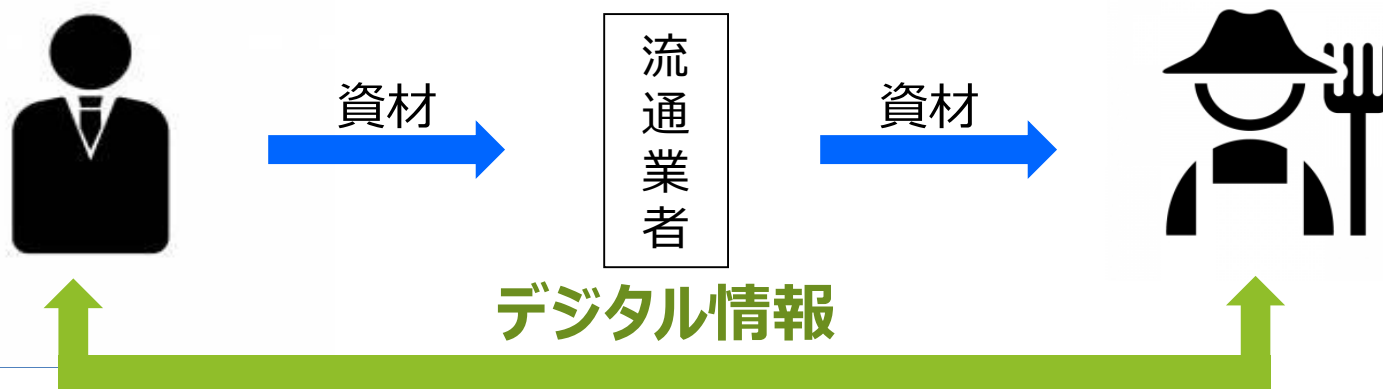
研究開発

- 合成生物学の最先端技術を活用し、**新規バイオリショナル製品の開発上市および既存製品のコストダウン**につなげる取り組みを加速
- 宝塚の**健康農業関連事業研究所内に、「バイオリショナルチーム」を新設**、パイプライン開発を強化

**開発後期のステージにある6つの製品
(植物生長調整剤4、バイオ殺虫剤1、根圏微生物資材1) の上市を加速**



担い手の高齢化・天候不順・労働力不足など 日本の農業現場が抱える
 様々な課題に応え、**農業生産者のニーズに沿った各種情報を提供する**
デジタル基盤を構築し、新しい価値提供を目指す



薬剤開発

- 既存剤の高品質化
- 新規剤の探索・開発・導入

(例) 天然抽出物等



製品拡充

- 樹脂・塗料分野等での応用技術開発
- デバイスの開発

(展開例)



- ✓ 光学フィルム
- ✓ スマホケース



- ✓ 汎用フィルム
(自販機、エレベーター等)

販路拡大

- 住化エンバイロメンタルサイエンス社など、グループ会社との連携・協働

 住友化学

 SES

 住化プラスチック株式会社
SUMIKA PLASTECH Co., Ltd.

 神東塗料

取組内容

新型コロナウイルス対策の社会的要請に応えつつ、生活環境分野の新たな事業の柱を創る

製造

- ・既存設備での増産
- ・高経年化系列の停止
- ・製造コスト低減

物流

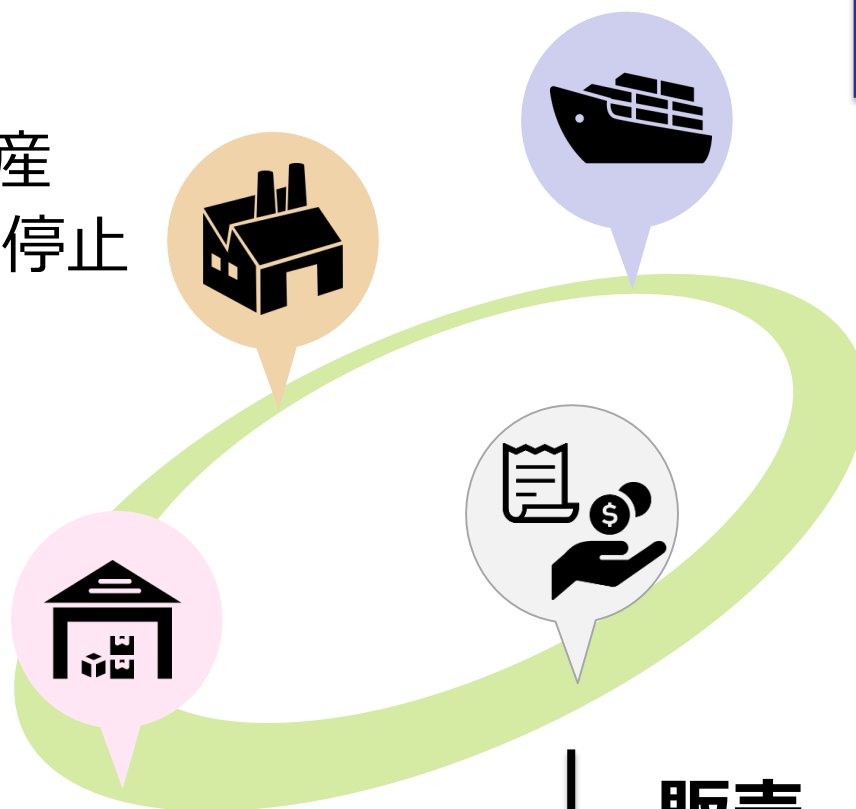
- ・DXによる在庫管理
- ・外航運賃削減

調達

- ・購入原料価格低減

販売

- ・販売地域/顧客戦略の最適化
- ・販売リソースの効率的運用



- 以下複数剤が上市に向け
開発進捗中

パイプラインG

牛用途
必須アミノ酸

Step1
開発候補

パイプラインF

鶏用途
飼料効率向上

Step2
初期開発

パイプラインE

豚用途
体重増加

Step 3
本格開発

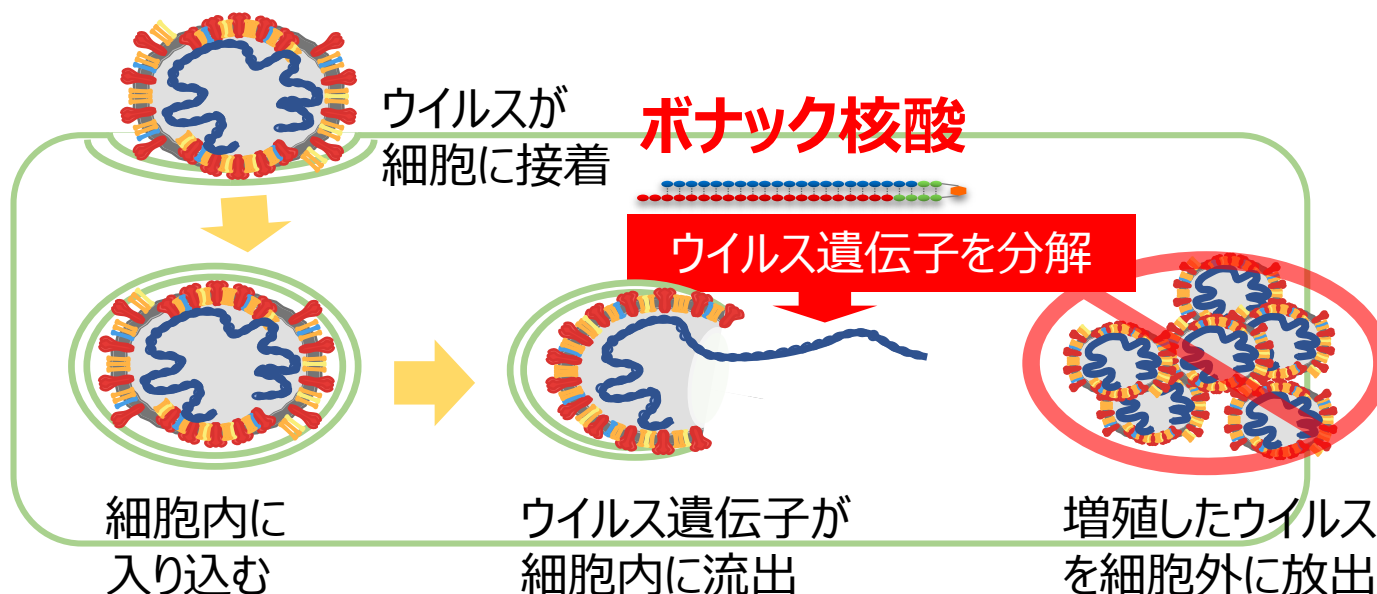
グアニジノ酢酸

鶏用途
飼料効率向上
筋肉増量

Step4
登録完了
上市準備

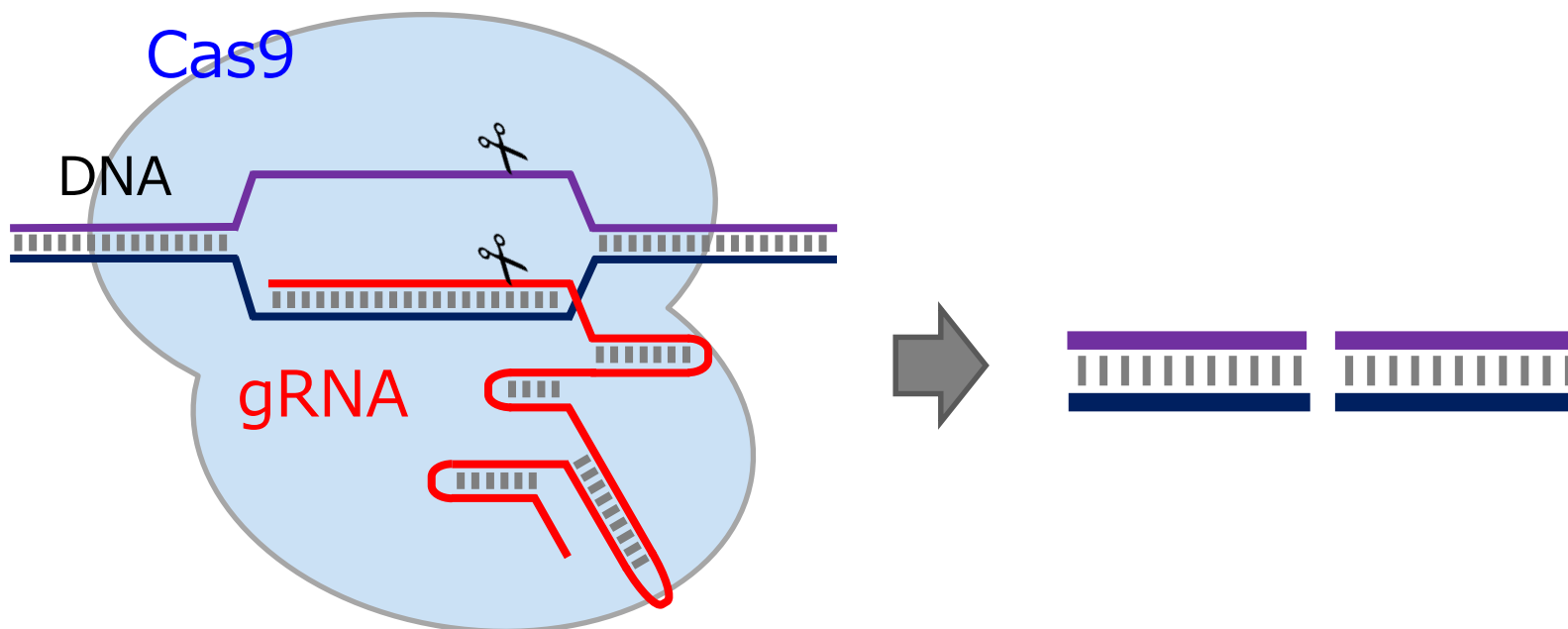
□ Covid-19向け核酸医薬原薬の供給

- 株式会社ボナックと福岡県の共同研究によりウイルス遺伝子を直接分解する核酸医薬候補物質を探索中
- 20年末候補物質確定。21年初めから原薬の製造を目指す



□ ゲノム編集用途長鎖RNAの供給

- ゲノム編集技術Crispr-Cas9（2020年ノーベル化学賞受賞）向け長鎖RNAの供給
- 高純度の長鎖RNAをGMPで大量供給可能な世界唯一の技術



V

健康・農業関連事業部門

1

近年の業績動向

03

2

ウイルス感染症拡大防止への貢献

05

3

当部門のビジョンと各事業の成長戦略

07

4

今後の業績見通し

25



Global

印ECC社
持分取得

南米Nufarm社
事業買収

FY2014

FY2016

FY2017

FY2019

FY2021



Innovation

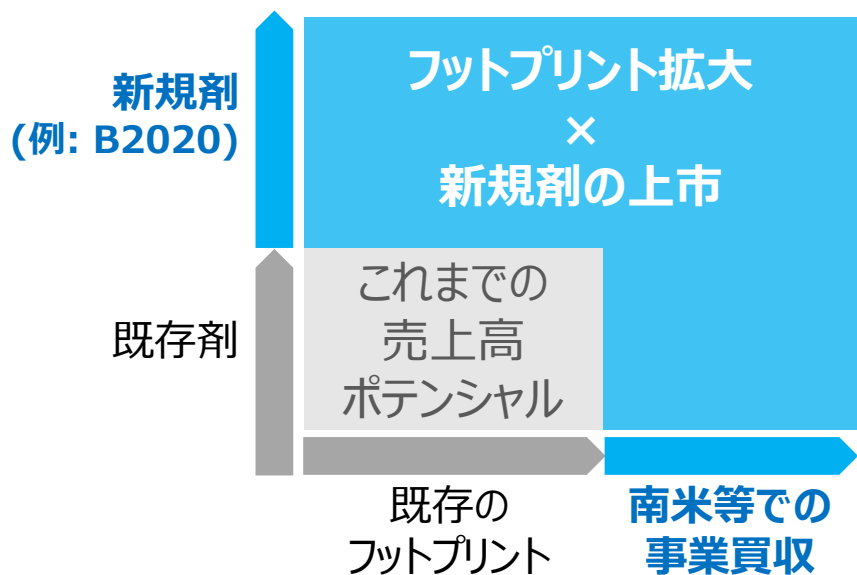
Business
Creation

米MA社
買収

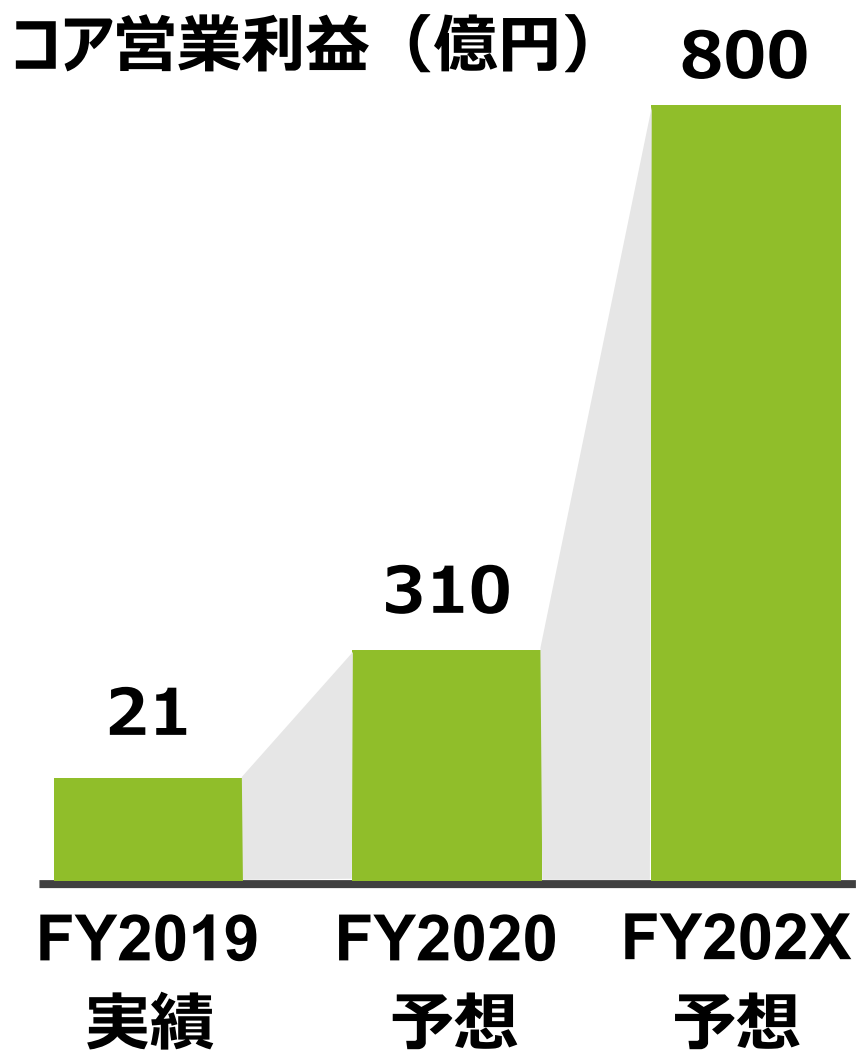
豪BRA社
買収

INDIFLIN™
南米上市

売上成長イメージ



これまでに実施してきた
打ち手（戦略投資）の「足し算」ではなく、
「掛け算」によるトップラインの成長を期す



トップラインの成長

- ・B2020/A2020剤の上市
- ・バイオリショナル製品拡大
- ・南米・インドビジネスの伸長



ボトムラインの改善

上記のトップラインの成長



- ・メチオニンコスト合理化
- ・海外農薬GE品との差別化
- ・経費の最適化

注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。